

会場 / 文化のみち二葉館 2階展示室
期間 / 平成30年2月2日(金)～3月4日(日) 月曜休館(祝日の場合はその翌日) 時 間 / 10時～17時
入館料 / 一般200円 中学生以下無料(各種減免あり) ※2月8日(木)開館記念日「ふたばの日」は入館料無料

トーク
イベント

「清水信さんを語る―これからの同人雑誌」

鼎談 / 衣斐弘行(同人雑誌「火涼」主宰)、清水良典(愛知淑徳大学教授)、司会 竹中忍(同人雑誌「北斗」主宰)

日時 / 平成30年2月17日(土) 13時30分～15時 会場 / 文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料) 当日先着順自由席

中部の同人雑誌展

― 清水信さんを偲んで



中部の同人雑誌展 —清水信さんを偲んで



戦後間もない昭和23年に創刊された「作家」、昭和34年に創刊された「東海文学」、そして昭和24年に創刊され現在も発行している「北斗」は、名古屋を代表する同人雑誌です。これらの同人雑誌から輩出され活躍した作家や、戦後から現在までに中部地方で刊行された同人雑誌について、寄贈資料をもとにご紹介します。

また「北斗」の創刊に携わり、長年同人雑誌と向き合った文芸評論家の清水信さんの没後1年を悼み、それまでの創作活動やゆかりの資料などもあわせてご紹介いたします。

【清水信(しみずしん)】

1920年長野県生まれ。明治大文学芸科で学び、評論家の小林秀雄らに師事する。戦後、鈴鹿市で中学教諭を務めるかたわら文芸批評を行い、1962年「当世文人気質」で第3回近代文学賞を受賞。2007年中日文化賞受賞、2008年三重県県民功労者賞表彰受章。

2017年
2月逝去、
享年96歳。



トークイベント

「清水信さんを語る —これからの同人雑誌」

清水信さんの文芸活動やその背景、思い出話について、またこれからの同人雑誌についてお話しいただきます。



◆鼎談 / 衣斐弘行(同人雑誌「火涼」主宰)

清水良典(愛知淑徳大学教授)

司会 竹中忍(同人雑誌「北斗」主宰)

◆日時 / 平成30年2月17日(土)

13時30分～15時

◆会場 / 文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料) 当日先着順自由席

【衣斐弘行(いびひろゆき)】

1947年鈴鹿市生まれ。大泉寺住職。文芸同人雑誌「火涼」主宰。

著書に「評伝斎藤緑雨」等。

2009年第3回清水信文学賞受賞、2011年三重県文化功労賞受賞。

【清水良典(しみずよしのり)】

1954年生まれ。文芸評論家・愛知淑徳大学教授。第33回群像新人文学賞評論部門、2012年度中日文化賞を受賞。主な著書に「2週間で小説を書く!」、「増補版村上春樹はくせになる」、「デビュー小説論」など。

【竹中忍(たけなかしのぶ)】

1954年名古屋生まれ。月刊同人雑誌「北斗」主宰。著書「春愁」上・下巻、「青銅鏡」。中日新聞「中部の文芸」担当。名古屋在住。

【竹中忍(たけなかしのぶ)】

1954年名古屋生まれ。月刊同人雑誌「北斗」主宰。著書「春愁」上・下巻、「青銅鏡」。中日新聞「中部の文芸」担当。名古屋在住。

【竹中忍(たけなかしのぶ)】

1954年名古屋生まれ。月刊同人雑誌「北斗」主宰。著書「春愁」上・下巻、「青銅鏡」。中日新聞「中部の文芸」担当。名古屋在住。

【竹中忍(たけなかしのぶ)】

1954年名古屋生まれ。月刊同人雑誌「北斗」主宰。著書「春愁」上・下巻、「青銅鏡」。中日新聞「中部の文芸」担当。名古屋在住。

【竹中忍(たけなかしのぶ)】

1954年名古屋生まれ。月刊同人雑誌「北斗」主宰。著書「春愁」上・下巻、「青銅鏡」。中日新聞「中部の文芸」担当。名古屋在住。

【竹中忍(たけなかしのぶ)】

1954年名古屋生まれ。月刊同人雑誌「北斗」主宰。著書「春愁」上・下巻、「青銅鏡」。中日新聞「中部の文芸」担当。名古屋在住。

【竹中忍(たけなかしのぶ)】

1954年名古屋生まれ。月刊同人雑誌「北斗」主宰。著書「春愁」上・下巻、「青銅鏡」。中日新聞「中部の文芸」担当。名古屋在住。

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

〒461-0014 名古屋市東区榎木町3丁目23番地

Tel & Fax 052-936-3836

http://www.futabakan.jp/

このチラシは古紙リサイクルをふまえて再生紙を使用しています。

交通のご案内

- 名古屋観光ルートバス「文化のみち二葉館」下車
 - 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
 - 駅前バス2号「白鷺」下車、南に徒歩5分
 - 地下鉄桜通線「高島」下車、2番出口より北に徒歩10分
 - 名鉄瀬戸線「記ヶ丘」下車、南に徒歩12分
- ※駐車場数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



得ッパ!
当日利用したドニチエコきっぷ等の一日乗車券を提示するだけで、名古屋市内の施設・飲食店などで割引等の特典が受けられます!

市バス・地下鉄でのおかけが便利でお得です。

ドニチエコきっぷ・一日乗車券を利用してご来場の方は、
文化のみち二葉館入館料割引! 一般 200円 ▶ 160円

※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック「なごやナビ」をご覧ください。

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」は、ゆとりーとライン(高岡区間)、名鉄バス、あおなみ線、リニモでは利用できません。

